

“思い出のかけら” 司書の部屋



ポケットディスク（グアテマラ製）？ 突然、「何のこっちゃ？」ですよね。昔、自分でメモ帳に残した覚え書きです。当の本人もすっかり忘れて「何のこっちゃ？」でしたが、思い出しました。そう！図書館で借りた本(エッセイ)に出てきた民芸雑貨のことで、そういう物好きな私は、そのポケットディスクなる物に食指が動き、インターネットで調べて、購入したはず。物入れをゴソゴソと探ったところ、出てきました。それはカラフルな細紐で編んだやわらかいフリスビーで、年甲斐もなく、広い芝生で、だれかと一緒に遊ぶのだと思ったものの、その夢は果たされないうまでした。

前置きはさておき、気になるのが本のタイトル。皆さんありませんか？あの本、何だっけ？って、思うこと。そんな時は豊島区立図書館のホームページの上部にある「利用者メニュー」の機能で「読書記録照会」が役に立ちます。

最初に「読書記録設定登録」の「利用する」を選択し、登録するだけで、あとは、借りた本を自動的に記録してくれます。除籍された資料の記録が削除されるなど完璧ではありませんが、昔に読んだ本を懐かしく思ったり、当時の思い出のかけらを拾ったりできます。赤ちゃんの利用カードを作ったときに、この登録をしておけば、読んであげた本の記録もできます。他にも「お気に入り資料照会」という機能もあります。いつからでも始められますので、まだの方はぜひお試しください。(S)

- ・ポケットディスクが出てくる本
『くろちゃんとツマと私』 南 伸坊／著 東京書籍
- ・クスッと笑ってしまう本
『100万回死んだねこー覚え違いタイトル集』
福井県立図書館／編著 講談社

巣鴨・大塚界限 最終回 ～都立大塚ろう学校～



今回は大塚ろう学校を紹介します。

大塚ろう学校は東京都立の聴覚障害特別支援学校です。本校と三つの分教室の4つのキャンパスがあり、巣鴨にある本校には幼稚部と小学部が設置されています。今年で創立100年を迎える歴史あるろう学校です。教育目標として、豊かなコミュニケーション力を基盤に、ことば（日本語）・学力・社会性・健康の4つの柱をもって教育を行い、地域における聴覚障害教育のセンター校としての役割を果たすことを掲げています。

巣鴨図書館では、図書の団体貸出や2年生の町たんけん、6年生の職場体験などの学校支援を行っています。みんな笑顔で楽しそうに興味をもっていろんなことにチャレンジしてくれるので巣鴨図書館の児童担当も楽しみにしています。

聴覚に障害があると言ってもそれぞれ程度も必要な援助も違います。私たちもなるべく分かりやすいように大きい表示を作り説明を行います。引率の先生方が手話や口話を使って児童一人一人に合わせた対応をしていました。

聴覚に障害のある方は、図書館でのコミュニケーションがとりにくく感じることもあるかと思います。巣鴨図書館には記載台に筆談器やコミュニケーションボードが用意されています。

聴覚に障害がある方だけでなく
耳の聞こえに不安がある方も
ぜひ活用していただけたらと思います。



また巣鴨図書館には「すべての子どもに読書のよろこびを」という考えのもと、みんなが楽しめるバリアフリーな本を置いている「りんごの棚」があります。興味がある方はのぞいてみてください。(I)

毎回ご好評いただいている「ひと棚図書館」は
3月26日（木）までの展示です。ぜひご覧ください。
すがもがーでんのお花もきれいに咲いてくれています。
ぜひ桜のつばみにもご注目ください。
前庭のベンチでお花見をするのも楽しみですね！（Mi）

すがもらいぶらり



2026年3月1日発行(年6回1・3・5・7・9・11月の1日)

今年度最後のすがもらいぶらりとなりました。今年度のすがもらいぶらりでは、区内の施設についても紹介してきました。豊島区について知るきっかけになれば幸いです。

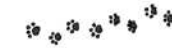
来年度のすがもらいぶらりは、初心に戻り、より本に焦点を当てていく予定です。司書によるカラフルな本の紹介をお楽しみに。(館長)



巣鴨図書館のご近所、区立清和小学校とは様々な交流をしてきました。今回、6年生のみなさんによるおすすめ本の展示を行っています。小学生生活最後の力作です。読みごたえたっぷりですよ★
地下すがもぎやらりーで3月26日（木）までです。



「ひと棚図書館」のあゆみ



『「ひと棚図書館」は、それぞれに違う図書館です。棚主になって、自由にテーマを決めて、本を選んで、並べて、あなただけの本棚を作ってみませんか？』
のコンセプトで始めた「ひと棚図書館」が2周年です。そこで、この2年を振り返りました。

改めて、「ひと棚」を作ってくださった皆さん、棚主さんへメッセージカードを書いてくださった皆さん、ありがとうございます。

十文字中学高等学校の生徒さんは、2年連続で2025年1月～3月の展示に参加してくださいました。ずらっと並ぶと壮観です。



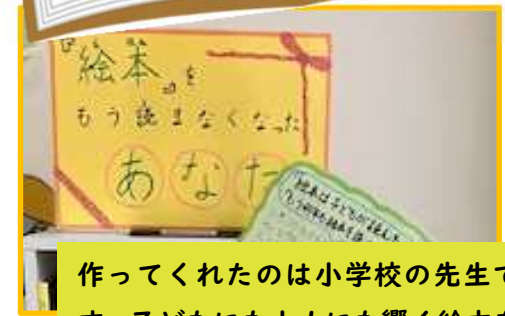
2025年は他校の生徒さんも参加して、9個のひと棚が並びました。

素敵なウェルカムボードも描いてもらいました。



持参した沢山の付箋やメモを使って、1冊1冊に手書きの紹介POPをつけられました。どの紹介文からも本への愛が伝わって来ました。

元々はティーンズ向け企画だったのですが、それ以外の方にも参加して欲しい！と募集しました。みなさんが考え、作ってくれた様々な「テーマ」を紹介します。

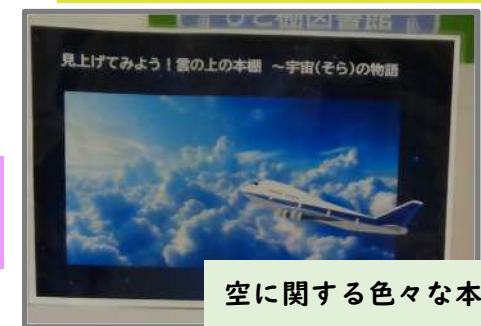


作ってくれたのは小学校の先生です。子どもにも大人にも響く絵本を集めてくれました。流石です。

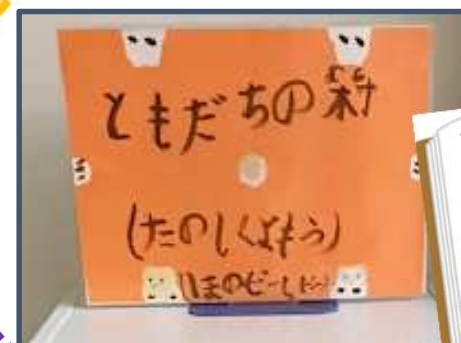
2026年1月～3月は7つの個性溢れる「ひと棚」が並びました。



スペインが大好きな方の棚です。



空に関する色々な本が集まりました。



仲良しの小学生2人で、ひとつの棚を作ってくれました。相談をして、意見を出し合い、見事なチームプレイを見せてくれました。